

令和2年度補正予算「分野・テーマ別の海外販路開拓等への支援強化事業」報告書  
～フィリピン～

■実施主体

株式会社 日本農業

■実施国

フィリピン

■期間

2021/11/20-2022/12/10

■店舗

Rustan: Katipunan Ave, Sct. Mandarin St, Euligio Rodriguez Jr. Ave., Ayala Center

Landmark: Trinoma Annex, Makati, Ayala

■背景

インドネシアはフィリピン、ベトナム、タイ等の東南アジア各国と同様に、日本産リンゴのプレゼンスはまだまだ低い。現状は、日本産リンゴは贈答用のリンゴとしか認識されておらず、輸出量が大幅に増える絵が見えていない。

こういった国々において、1つの有効なプロモーションの手段がサンプリングであるが、今年はコロナの蔓延を理由により小売店舗がサンプリングを禁止していたため、POSMを配置し、日本産リンゴの認知拡大を図った。

■概要

・フィリピンの印刷会社に POSM の印刷を依頼し、弊社の取引先である輸入業者に各店舗への配送を依頼。

・Rustan と Landmark という2つの小売店舗において、POSM を設置し販売を促進

■効果

・今年はアメリカ産のリンゴがコンテナの遅れの影響で中々フィリピンに届かず、そのマーケットを埋める形で日本産リンゴの引き合いが強くなったという要素も大きいですが、フィリピン向けの出荷は約2倍となり、この POSMにより、より消費者に日本産りんごの認知が広まったとも仮定できる。

・今年は渡航も許されず、その効果を自身の目で確認することも出来なかった。来年度以降はサンプリングが可能となっていることに期待。

